

幻想の世界へ



まほ 広報

1988 12 No.443

11月1日現在
人口 21,717人
(前月比+9)
男 10,586人
女 11,131人
世帯数 6,710世帯

おとふけが つた

ンブリッジフェスタ772

全道一の斜張橋・十勝中央
大橋が十月六日開通。
寒風が吹きぬける中
両町民が多彩な記念行事で
盛大に祝いました。
これから
両町の架け橋
として
大きな期待が
かけられて
いきます。



橋上結婚式



1日
姉妹校



応援合戦



つな引き合戦

橋の上は
人・人・人……



はしっても2分はかかります

まべつと つなが

十勝中央大橋サーモ

ドキュメント

十勝中央大橋

- 《五日》前夜祭(時折り小雨が降る)
- 午後六時―照明に浮き上がった幻想的な橋をバックに花火が打ち上げられ、高さ十一メートルのやぐらの炎が夜空をこがした。
- 《六日》(風が音をたてて吹く)
- 午前十時―橋に近い相川小と下士幌小の児童の鼓笛隊が橋上パレード、橋の中央で一日姉妹校を結び記念の盾を交換。●同二十五分―帯広楽走会が橋を駆け抜け、幕別農協青年部の連凧が空を舞う。
- 同三十分―橋上結婚式の花嫁市之川敦子さんが人力車に乗って幕別側をスタート。●同四十分、中央の舞台上尾井代史弘さんと愛を誓う。三百人の人達が拍手で祝福。
- 正午―二百五十メートルの特注網を両

町の商工会長を先頭に二百五十人が引き合う。結果は「友好」の一勝一敗。

●午後三時―幕別側で修ばつ式、テープカットと続き、親子三代夫婦の沖田茂さん一家を先頭に農道らしくトラクターが続いて、渡り初め。



握手



式典



テープカット



渡り初め



このはしは、はしからはしまで772m

町づくりに使ったお金は 町民一人当たり

62年度決算から

昭和六十二年度の決算がまとまりました。その内容を一般会計を中心に紹介します。六十二年度末の幕別町の人口は二万一千六百九十二人でしたので、皆さんが納められた町税などを人口で割りますと、一人当たり約六万九千円を納めていただき、一人当たり約三十七万五千円の仕事をしたことになりました。

37.5万円

一般会計の概要

町に入ったお金（歳入）は、六十一年度に比べて約一億八千万円減の八十一億九千二百九十二円、仕事に使われたお金（歳出）は、約二億一千万円減の八十一億三千八百五十七円でした。

この歳入と歳出を差し引きしますと六千二百二十三万五千円になります。六十三年度に繰り越す事業が一千五百四十二万二千円ありますので、残る四千五百八十一万三千円が六十二年度の黒字となりました。

この黒字分が地方自治法の定めによる財政調整基金への積み立てを二千四百万円しましたので、二千八百八十一万三千円が六十三年度に繰り越されました。

固定資産税 24,427円
町民税 28,216円
お金は6万9,074円

入 歳

地方交付税が四割 八億円を町債で

歳入の内訳は図-1のとおりですが、皆さんが納められた町税は一八・三割を占める十四億九千八百三十五万一千円（前年対比七・九割増）となりました。また国が国税（所得税、法人税、酒税）の一定割合を町に交付する地方交付税は、三十億七千五百七十七千円（同五・六割増）と歳入の約四割を占め、このほかに国と道の支出金が約十二億円、使用料や手数料、財産収入などを含めて約十二億七千万円となっています。

歳入の一角を占めるものに町債があります。これは道路、公園、学校等の事業を実施するために国

や銀行などから借りた町の借金です。町民一人当たり三万七千九百九十円の借金をしたことになり、今までに借りた町債の合計額が九十億四千八百三十四万八千円となっていますので、合計では町民一人当たり約四十一万七千円の借金があることとなります。

自主財源は三三・八割

歳入は、歳入の総額に占める自主財源（町税など町が自分で集めて自由に使える）の割合が大きいほど、歳入構造が安定していると言われます。六十二年度の自主財源は三三・八割、残りは国や道の意志に基づいて交付されたり、割り当てられる依存財源で、この割合は全道的に見ても同じような状況になっています。

● 図-1 歳入（財源の構成状況）

（単位：千円）

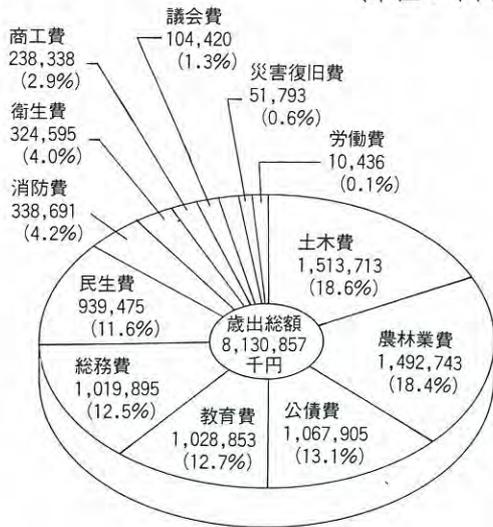


21,692人×1人当たりの項目の金額=図-2の項目の金額

農林業費	労働費	衛生費	民生費	総務費	議会費
68,815円	481円	14,964円	43,310円	47,017円	4,814円

● 図-2 歳出(目的別決算内訳)

(単位：千円)



その他(入湯税など)	電気税	町たばこ消費税
9,215円	2,776円	4,440円

町民1人当たりが納めた

歳出
土木・農林業費に
三十億円を使う

歳出の内訳を目的別にするとうちの二のとおりでありますが、この中で大きな割合を占めるのは土木費と農林業費です。
土木費は主に道路の改良と舗装に要した費用ですが、明野二十五号線など十八本の道路整備に約四億四千万円を使い、この結果、町道全体に占める改良率は四四・三割、舗装率は二九・七割になりました。このほかに明野ヶ丘公園の整備に約五千万円、公営住宅の建設に約七千万円を使いました。
農林業費は全体の一八・四割を占め、土地改良事業関係で約五億円、麦乾施設の建設関係で約一億

↓国や道からの補助金や町が借金をしたから↑

四千万円などとなっています。次に教育費は約十億円の支出で、中里小体育館に約一億円、明倫小学校舎に約一億四千万円、教員住宅の建設に約五千二百万円が使われました。

歳出の中で大きな割合を占めているもう一つは、公債費と言われている町の借金を返済するための費用です。六十二年度は歳出全体の一三・一割(前年対比三三・五割の減)となっています。

また、お金の使い道を性質別に分けると、消費的経費(人件費、物件費、扶助費など)と投資的経費(建設事業)に分けられます。行政水準の向上や町民経済に与える影響からも投資的経費の割合が高いほど望ましいと言われていますが、この割合は消費的経費が六

六・五割、投資的経費は三三・五割になっています。

開基百年基金を創設

開基百年記念事業基金が六十二年度に創設され、年度末で寄付を含めて一千三百八十万円になりました。このほかの基金の現在高は表のとおりです。

基金の62年度末残高

基金名	現在高(千円)
財政調整基金	683,000
減債基金	114,000
開基100年記念事業基金	13,800
教育施設建設基金	9,000
土地開発基金	152,000
国民健康保険基金	109,863
公民館等図書整備基金	20,000
その他	29,263
合計	1,130,926

特別会計の決算額

特別会計の決算額は四十四億円

国民健康保険特別会計ほか六特別会計の歳入、歳出合計額は、歳入が四十四億九千九十万円(前年対比一五・五割増)、歳出が四十四億六千三百六十三千円(同一五・二割増)となり、二千七百八十五万七千円の黒字になりました。
企業会計のうち、国民宿舎事業会計の営業収支は一般会計からの補助金一千二百二十八千円がありましたので、一千四百一十一万九千

五円の黒字となりました。また水道事業会計の営業収支も、同じく一般会計からの補助金が二千七百四十八万八千円ありましたので、一千五百三十一万五千五百六十

の黒字となっています。
七特別会計と二企業会計の借入金残高は六十二年年度末で、特別会計が三十五億七千六百六十七万四千円、企業会計が十二億八千九百六十九万九千円になっています。

37万4,832円を町民1人当たりに使いました

公債費	災害復旧費	教育費	消防費	土木費	商工費
49,230円	2,388円	47,430円	15,614円	69,782円	10,987円

かしい納税 しませんか

あなたは、うっかり忘れていて税金の督促状をもらい、不愉快な気持ちになったことはありませんか。幕別町は年四回の納期を設けていますが、税務課納税係では納期を過ぎていられる方には督促状を出さなければなりません。いやな思いをせずに済む方法、かしい納税の方法を考えてみましょう。

あなたが納める税金の種類は

あなたが納める税金には、次の種類があります。

▼道町民税

前の年の一月から十二月までの所得に対して、一月一日現在で幕別町に住んでいる方に道民税と町民税がかかります。

▼固定資産税

一月一日現在で持っている土地や家屋、償却資産（トラクター等の機械）に税金がかかります。

▼軽自動車税

五百五十cc以下の軽自動車やオートバイを四月一日現在に持っている方、または使っている方に税金がかかります。

▼国民健康保険税

加入者の前の年の所得と世帯の

状況に応じて、四月一日現在で税金がかかります。（ただし取得、喪失により税額は変わります）

どうして四期なの

税金の納期は昭和五十七年から四期制になりました。その前は三期制だったのですが、三期では一期ごとに納める金額が多くて負担になるということから改正されました。

町の税務課では昨年十月、町税の納めやすい方法を検討しようと住民アンケートをしました。その結果、納期については約八割の方が、今のままでいいという回答をされています。

今年の最終納期は

12月26日です

これらの税金は四期（軽自動車

税は一期）に分けて納めていただくことになっています。その期日ごとの納期は表のとおりです。

税金ごとの今年の納期

税金の種類	納期
道町民税	第1期 6月16日～6月30日 第2期 8月16日～8月30日
固定資産税	第3期 10月17日～10月31日
国民健康保険税	第4期 12月1日～12月26日
軽自動車税	6月16日～6月30日

税金は貴重な財源 納期内に納めて

町では納期ごとに税金がどれだけ入ってくるかを計算し、それに合わせて仕事をしたり、事業を始める時期を決めています。もし納期内に税金が入ってこなければ、その差額は、お金を一時借りて賄わなければならない、町の仕事に支障を来すことにもなりかねません。

今月号の四ページを見て下さい。六十二年度の歳入のうち一八・三割を町税が占めているように、町税は自分達の住む町をさらによい環境にするための貴重な財源です。そのためにも納期内の納入が望まれますし、うっかり忘れるということがなく、かしい納税の方法はというと、やっぱり口座振替制度を利用するのが一番ですね。

かしい納税は 口座振替を利用

役場や金融機関に税金を持っていく手間、ヒマがかからず、うっかり忘れるという心配をしなくてもすむ方法は、口座振替制度を利用するのが一番です。忙しい方にお勧めする二重丸の制度で、手続

きも簡単ですから、ぜひ一度、お確かめ下さい。（でも口座にお金が入っていないとだめですよ）
それに口座振替制度を利用して納期内に税金が納入されると、所属する納税貯蓄組合に奨励金が交付されます。そこで三つの納税貯蓄組合の組合長さんに、お話を聞いてみました。

組合長さんに 聞きました「私達の納税貯蓄組合」



沢田 留治 さん
(宝町)

完納で納税意識が高まる

今年の春、設立三十周年記念式をしました。毎年、百パーセント納入されており、組合員の納税意識が高まるだけでなく、組合員相互の連帯感も強まっています。それに納めるものを納めないと言えないですからね。



杉山 孝 さん
(中央町2)

奨励金でゴミステーション

町からの奨励金を有効に使う方法がないかと話し合った結果、形が残って町内の美化にも役立つゴミステーションを十三個造りました。評判はいいですね。



上田 宣慶 さん
(五位中央)

農協の組勤を利用して

私達の組合員は、ほとんどが農家で昼間は納めに行くヒマがありませんし、忙しい時は忘れ

奨励金で造った
ゴミステーション





郷土芸能とギターをたんのう

「アントニオ古賀と郷土芸能の夕べ」が十一月八日、町民会館で開かれ、満員の観集は、マクウンベツアイヌ文化保存会のムックリや踊り、アントニオ古賀の軽妙な語りと見事なギターの音色を楽しみました。



詩吟で自慢ののどを披露

第19回東部十勝吟道大会が10月30日札内福祉センターで盛大に開かれました。無級から総伝まで95人が参加。日頃きたえた自慢ののどを披露しました。



清掃活動でさわやかな汗

10月31日、ボランティア活動の一環として札内東中の生徒会では、全校生徒による白人公園や校舎周辺の落ち葉ひろいを一斉に行い、さわやかな汗を流しました。



文芸誌で書き方を学ぶ

町民文芸誌「まくべつ」の編集委員会がより多くの人の参加を願って「文芸誌を読む集い」を開きました。10月に発刊した第4号を教科書に参加者は書き方を学びました。



華やかに30周年を祝う

札内民謡友の会発足三十周年記念式典が十一月十二日、札内福祉センターで開かれました。祝宴では会員全員による「どさんこ甚句」や幕別音頭、民謡などが華やかに繰り広げられていました。



老人ホームで遊戯を披露

札内南小の三年生から六年生までの児童七十三人が特別養護老人ホーム札内寮を慰問し、遊戯や劇を披露しました。子供達の熱演にお年寄りたちから大きな拍手が送られました。



幼稚園児が防災PR

「火の用心」と書かれた風船を手に、わかば幼稚園の四十一人の園児達が防火PRの街頭パレードを行いました。消防署前を出発し本通り、駅前通りをかわいいう法被姿で元気に歩きました。



ハギレを社協に寄贈

幕別地区青空会(小林征子代表)が十月九日、役場を訪れ、「特養老人ホームのお年寄りのために使って下さい」とダンボール六個にびっしりのハギレを社会福祉協議会に寄贈しました。

広報クイズ—(21)

500円の図書券が当たる

みんな、先月のクイズはむずかしかった?よお〜く読んでほしいってね。

- ①十勝中央大橋の長さは何メートル
A)250m B)500m C)772m
- ②62年度で町づくりに使ったお金は一人当たりいくら
A)37.5万円 B)100万円 C)20万円
- ③税金は1年間に何回にわけて納める
A)2回 B)3回 C)4回
- ④札内民謡友の会ができてから何周年になる
A)20周年 B)30周年 C)40周年
- ⑤秋の叙勲を受賞された人は何人
A)1人 B)2人 C)3人

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先=☎089-06

幕別町本町130 役場内・広報係

★締め切り=

★前回の正解は、①-B、②-A、③-C、④-C、⑤-Bでした。応募59通で全問正解が38通。抽選で次の5人が当選しました。(敬称略)

佐藤恵子(新川) 遠藤ゆかり(12・緑町) 永沢真史(13・緑町) 伊東麻貴(桂町) 佐々木初美(2・旭町)

図書券当たる笑顔は...



①-B ②-A ③-C
④-C ⑤-B



みんなの 紙芝居



◆あゝ「ロボットイレ」(私は入谷貴美子?)

☺「広報を初めて読みました。私

ほんの一言

☺「一度、みんなのページにのりうれしかったです。今度は図書券が当たるともつともつとうれしいけど、よくばりかなア私って。↓

◆あゝ「ロボットイレ」(私は入谷貴美子?)
とても喜んでましたよ。↓若草町・

そう呼んでいます)はとても評判が良いようです。設計は建築係の若手職員、今では「トイレの杉崎」と呼ばれています。次のトイレに意欲満々。期待して下さい。
十勝中央大橋も観光名所として期待されていますが、特に夜景が大好評のようです。小さな建物から大きな建物までユニークな物が続々と生まれています。楽しいですネ。

☺「一度、みんなのページにのりうれしかったです。今度は図書券が当たるともつともつとうれしいけど、よくばりかなア私って。↓

◆あゝ「ロボットイレ」(私は入谷貴美子?)

☺「一度、みんなのページにのりうれしかったです。今度は図書券が当たるともつともつとうれしいけど、よくばりかなア私って。↓

☺「一度、みんなのページにのりうれしかったです。今度は図書券が当たるともつともつとうれしいけど、よくばりかなア私って。↓

は「クイズ」と「みんなのページ」が好きです。↓中央町・石山美幸(二四)
☺「先月広報の御苦労を聞きました。編集に企画、そして山の中までの配布、本当に大変と思います。↓あかしや町・菅野日出夫(四一)
☺「何回出しても当たりません。今度こそ当たりますように、お願いします。↓あかしや町・横山樹里(九三)
☺「このまえにしたら、あたったと思ったのに絵しか出ていませんでした。今度こそは図書券をください。↓旭町・坂口有史(二二)
☺「図書券があたりました。ありがとうございます。また頑張つてハガキを出したいと思います。↓旭町・尾畑光子(二八)
☺「一度、みんなのページにのりうれしかったです。今度は図書券が当たるともつともつとうれしいけど、よくばりかなア私って。↓

岸田幸恵(二二)
☺「メッキリにぎりに出したので、ちよつと心配だなあ。↓古舞・岸上留美子(二二)
イラスト展開きます
12月25日〜1月22日

今年四月から十一月までの八ヶ月間にいただいたハガキの中には素敵なイラストがたくさんあります。編集室では、その中から、力作五十点を選び、子供達の冬休み期間中を利用して展示することにしました。さらにみなさんが審査員になっていただき、「第一回イラスト大賞」を決めたいと思います。開催期間は、十二月二十日〜十二月三十日までは役場一階ロビー、一月九日〜一月十九日までは札内福祉センターで展示します。投票用紙はそれぞれの場所に用意しておきます。選ばれたハガキ、それぞれに部上位十人、投票者の中から抽選で十人に広報特製キーホルダーを進呈します。結果は二月号の広報で紹介します。

こちら編集室です

早いものでもう十二月、今年もいろいろな出来事がありました。残り良ければすべてよし、十二月にかけますか(浅田)寒い時の取材はもういやだ。と言ってもこれから本番なんですよね。ダルマになっている私を見かけたら、気軽に声をかけて下さいね(森)

帯広畜産大学で

実習の助手を務める

「上申しているということは聞いていましたが、まさかいただけるとは思っていませんでした。これも長年勤めた畜大の皆さんのご協力のおかげです」と笑顔で話していただきました。

新得町生まれ。復員した昭和二

この仕事一筋 秋の叙勲



勲七等青色桐葉章

柳澤 實さん(六〇)

札内桂町五七一



向濱健吉さん(七二)

旭町一八

帯広開発建設部で

河川改修機械を修理

「受賞の知らせを聞いた時は、本当にびっくりしました。厳しく教えていただいた先輩や、同僚、後輩に恵まれたおかげです」と喜びをかみしめられました。

小樽市生まれ。昭和十七年、十四歳で帯広土木現業所統内(今の

十年に電気工として採用され、二十八年から退職される五十六年まで農業工学科動力学教室勤務となり、実験のための準備や手伝いなどで、先生や学生の研究を支えてこられました。

「実験がスムーズにできて、学生さんから感謝された時が一番うれしかったですよ」と当時は振り返えられました。現在は奥さんと二人暮らしで、趣味の釣り三昧の毎日。

明野)機械工場に製缶工見習として勤務。二十六年に帯広開発建設部札内機械整備工場に配属になり、今年三月に退職するまで河川改修のための機械の製作や修理に従事。「昔はすべて手作業で何人もが一緒になって仕事をしました」と話され、現在は庭いじりと苦勞をかけた奥さんに孝行をする毎日。実兄の二郎さんも五十六年に叙勲を受けられ、兄弟での受賞です。

思いは

ふるさとへ

第四回札幌幕別会

札幌幕別会(倉持照三会長)の第四回総会と懇親会が十一月十一日、札幌市オーケラビル「北海道時代」で盛大に開かれました。この日は約二百人の会員のうち四十人が出席。大西照男副会長の「ふるさと幕別町の発展に協力していきたい」とのあいさつを受けて、林町長からは十勝中央大橋の完成や札内スポーツセンターの着工など、着々と進む町づくりの様子が報告されました。

懇親会では、町から出席した、林町長、木川商工会長を囲み、町の話やふるさとのなつかしい話に花を咲かせていました。また席

ふるさと幕別が話の中心…札幌幕別会



上、長尾功事務局長からは、新会員を募りたいとの要望がありました。札幌近郊に住む友人知人をご存知の方は、町企画調整課へご連絡下さい。

☎五四一二二二一内線三五九

幕別を舞台にした

小説が本になりました

北海タイムス紙で連載され、大好評だった幕別町出身の伊藤桂子(旧姓遠藤)さんの小説『十勝丘

あたたかな思いやりの心を

ふれあい広場

「あたたかな思いやりの心で共に生きる地域社会づくりを」をテーマに今年も『第七回幕別町社会福祉ふれあい広場』が十一月十二日、町民会館で開かれました。

地下大ホールで行われた開会式で多額寄付者七人に感謝状が贈られた後、保育所の子供たちの踊りやパトンのなどの芸能発表と続き、生後六カ月で下半身を失った少年の映画『ケニー』が上映されるころには、ホールに入りきれない人も出るほど大勢が詰めかけました。

また二階講堂で開かれた展示即売コーナーや一坪ショップ、うどん、そばなどのふれあいバザーにも人の列ができるほどの大盛況。訪れた千人以上の人達にも、あ

『陵』がこのほど本になり、北海タイムス社から一冊千五百円で発刊されました。物語は幕別を舞台にして人との出会いなど桂子さんの半生を描いたもので、作品は各方面からも高い評価を得ています。

伊藤桂子さんの小説「十勝丘陵」



たくさんの人でにぎわった一坪ショップ



聞かせてください あなたの意見 式人成について

多くの人と知り合いたい
なにか記憶に残ることがあればいいですね

先輩達の話を知ると、式そのものよりも式が終わってから仲間と飲みに行ったことが記憶に残っていると言っています。
自分も一生に一度のことですから出席はするつもりですが、自分の年だけのものというなにか記憶に残ることがあればいいですね。また、せっかく同じ年に成人になる人達が集まるんですから少しでも多くの人と知り合えたらいいなと思います。ネームが付いていれば話をするきっかけができるし、飲み物があつてデイスコなんかもできれば、打ちとけれそうですね。式も午後からだつたら、みんなと飲みにも行きやすいんですけど、ちよつと無理かな。



明倫（農業・二十歳）黒沼 世季

一月号のテーマは 広報紙について

来年一月号と二月号は、広報紙についてをテーマとします。みなさんは広報紙でどんな記事を読みたいのか、どういう広報紙を望んでいるのかなど、幅広いご意見をお寄せ下さい。ご意見は、はがきか手紙に百八十字前後、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、本町一三〇 役場広報広聴へお送り下さい。ご意見をお寄せいただきました皆さんには、広報特製キーホルダーをプレゼントさせていただきます。

広報紙について

二月号のテーマ

昭和63年度一般会計予算

上半期の執行状況

— 9月30日現在

私たちの住む町をより住み良くするために、六十三年度もいろいろな事業を進めています。九月三十日現在の一般会計の執行状況について、お知らせします。

「寄付ありがとうございます」

美濃ジンさんから 開基百年記念基金へ200万円



美濃ジンさん（糠内）から「夫が生前お世話になりました。開基

歳入の執行状況 (千円)

科目	予算現額	収入済額	執行率(%)
地方交付税	3,110,262	2,369,221	76.2
町税	1,436,912	766,784	53.4
国庫支出金	432,062	105,744	24.5
町債	870,600	—	—
諸収入	638,804	233,578	36.6
分担金・負担金	395,104	54,000	13.1
道支出金	636,508	19,668	3.1
譲与税・交付金	268,396	95,188	35.5
使用料・手数料	171,229	83,035	48.5
その他	266,232	55,819	21.0
合計	8,226,109	3,783,037	46.0

歳出の執行状況 (千円)

科目	予算現額	支出済額	執行率(%)
土木費	1,460,768	765,473	52.4
農林業費	1,328,502	344,987	26.0
公債費	1,136,059	533,849	47.0
民生費	979,434	494,301	50.5
教育費	1,300,622	491,569	37.8
総会・総務費	910,913	473,387	52.0
衛生費	330,572	142,881	43.2
消防費	337,578	162,317	48.1
商工費	316,887	175,015	55.2
災害復旧費	108,842	3,390	3.1
その他	15,932	4,543	28.5
合計	8,226,109	3,591,712	43.7

歳入では地方交付税が予算額に對して七六・二割が収入済みで、全体の六二割を占めています。歳出は事業などの支払いが九月以降になるものが多いため、執行率も四三・三割程度にとどまっています。

百年記念基金に積み立てて下さい」と二百万円が寄付され、十一月二日、ジンさんの代理として性由さんが役場を訪れ、林町長に手渡ししました。

社会福祉協議会へ

▽鈴木満夫さん（緑町）から二万円
▽坂本浩さん（若草町）から一万円
▽萩原正雄さん（糠内）から十万円
▽帯広市民生協募運営委員会から一万四千九百九円

開基百年基金へ

▽笹井弘正さん（緑町）から五万円
▽札内民謡友の会（山端隆会長）から五万円

町へ

▽小川よしのさん（古舞）から三十万円
▽鈴木徳蔵さん（桜町）から三万円
▽松三本（三十万円相当）
▽渡辺弘さん（泉町）から泉寿会へ二万円
▽萩原正雄さん（糠内）から糠内老人クラブへ三万円

ひと・時代をみつづけては今月お休みします。ご了承ください。